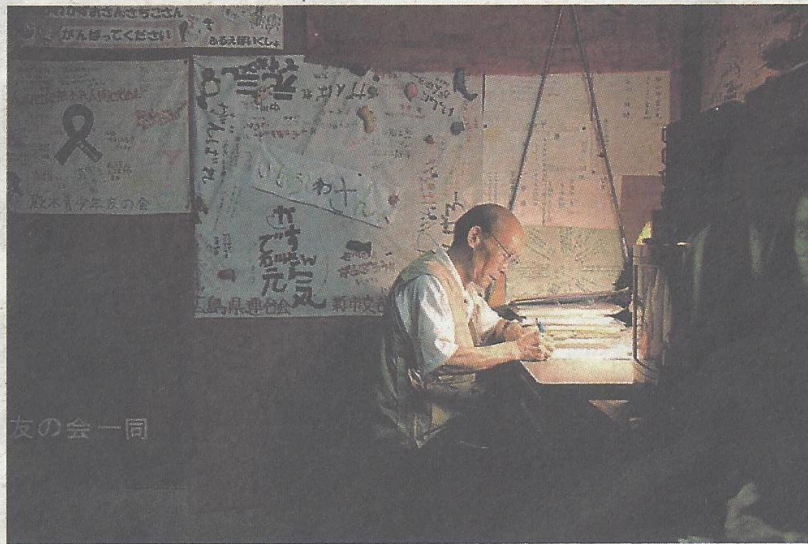


映画「SAYAMA みえない手錠をはずすまで」

殺人犯とされて53年。泣き、笑い、怒り、日々を凜と生き抜く石川一雄(77)さん、早智子さん夫婦の物語。ドキュメンタリー映画「SAYAMA みえない手錠をはずすまで」(監督・金聖雄)が国立市で初めて上映される。当日は石川夫妻と金監督も来場する。

教育を受けられなかった石川一雄さんは、獄中で文字を獲得した=映画より



10月14日 国立市で初上映

石川一雄さん・

早智子さんのトーク

1963年、狹山市で女子高校生(当時16歳)が殺害された事件「狹山事件」。被差別部落出身の石川一雄さんが逮捕され、自白を強要されて一審死刑、二審無期懲役が確定。現在仮釈放中の石川さんは早智子さんと再審を求め今日も無実を訴え続けている。弁護団は8月末、石川さんの自宅で見つかった万年筆が「被害者の物ではない」とする新証拠(万年筆に残るイ



同映画上映実行委員会の宮瀧代表(左)と押田五郎事務局長

ンクについての「新鑑定書」を東京高裁に提出した。

同映画を上映する実行委員会代表の宮瀧順子さん(57)は部落解放同盟国立支部支部長でもある。ある出版社が今年2月に「全国部落調査」復刻版(現代表部落地名総監)の出版を企画し、その内容をインターネットサイトで公表した。宮瀧さんも公表され人権被害をこうむった1人である。

「無実の石川さんは、被差別部落出身だから殺人犯にしたあげられた。部落に対する偏見は今も変わりません。当日は金監督の挨拶と石川夫妻のトークがあります。ご参加下さい」と宮瀧さん。

■映画は10月14日18時半、くにたち市民芸術小ホール(南武線矢川駅10分)。1500円、前売り1300円(5枚以上一枚1000円)。☎090・3804・4991 押田さん